

バーコードリーダー パラメータ設定ガイド

対応機種

MODEL 1000A シリーズ

MODEL 1500P シリーズ

MODEL 2500 シリーズ

www.e-welcom.com



ウェルコムデザイン株式会社

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250 (代) FAX. 03-5295-7252

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル

S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F

TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本部/SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より3年間とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。

 警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじり、強く引張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。

■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。



 注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）での使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



INDEX

1. はじめに	9
2. システムコマンド	10
2.1. 基本システムコマンド	10
2.2. パラメータ設定値出力コマンド	11
3. パソコンリーダーの簡単セットアップ	12
3.1. インターフェイスの初期化	12
USBキーボードインターフェイスの初期化	12
USBバーチャルCOM(USB-COM)インターフェイスの初期化	12
キーボードインターフェイスの初期化	13
RS232Cインターフェイスの初期化	13
3.2. プリフィックス/サフィックスの初期化	14
プリフィックス:無し/サフィックス:CR(Enterキー)	14
プリフィックス:無し/サフィックス:Enterキー	15
プリフィックス:無し/サフィックス:TABキー	15
プリフィックス:無し/サフィックス:CR/LF	16
プリフィックス:STX/サフィックス:ETX	16
4. 一般動作に関するパラメータ	17
4.1. グットリードLED	17
4.2. グットリードLEDの長さ	17
4.3. ビープの音量	18
4.4. グットリードビープの音色	18
4.5. グットリードビープの長さ	19
4.6. ノーリード(NR)送信	19
5. 読取動作に関するパラメータ	20
5.1. 読取モード	20
5.2. 読取タイムアウト	21
5.3. イミットタイムアウト	22
5.4. デコードデレイ	23
5.5. 同一コード読取デレイ	23
5.6. 読取エリア	24
5.7. オートセレクトモード	25
5.8. 初(反転)パソコンコード	25
5.9. 読取照合回数(全パソコンコードシリアル対象)	26
5.10. フォルダコード読取照合回数	26
6. インターフェイスに関するパラメータ	27
6.1. キーボードインターフェイス	27
6.1.1. キーボードタイプ	27
6.1.2. CAPSロック	28
6.1.3. アルファベット送信	28
6.1.4. 数字送信	28
6.1.5. ALTシグナル	29
6.1.6. 外付キーボード接続	29
6.1.7. キャラクタ間送信デレイ	30
6.1.8. ファンクション間送信デレイ	31
6.2. RS232Cインターフェイス	32
6.2.1. ボーレート	32
6.2.2. データビット	32
6.2.3. パリティ	33
6.2.4. ストップビット	33
6.2.5. フロー制御	33
6.2.6. キャラクタ間送信デレイ	34
6.2.7. ファンクション間送信デレイ	35
6.2.8. ACK/NAKタイムアウト	36
6.2.9. ACK/NAKエラービープ	36
6.3. USBキーボードインターフェイス(HID)	37
6.3.1. キーボードタイプ	37
6.3.2. CAPSロック	38

6.3.3. 汎用パケット送信	38
6.3.4. 数字送信	38
6.3.5. HID 送信モード	39
6.3.6. キャラクタ間送信デレイ	39
6.3.7. ファンクション間送信デレイ	40
6.4. USB バーチャル COM インターフェイス (VCP)	41
6.4.1. ファンクション間送信デレイ	41
6.4.2. ACK/NAK タイムアウト	42
6.4.3. ACK/NAK リトライ	42
7. バーコードシボールに関するパラメータ	43
7.1. コードバー (NW7)	43
7.2. インタストリアル 2/5	44
7.3. インタリポート 2/5	46
7.4. マトリクス 2/5	48
7.5. コード 39	50
7.6. コード 93	51
7.7. コード 128	51
7.8. ISBT-128	51
7.9. EAN-128 (GS1-128)	52
7.10. EAN-8 (JAN-8)	53
7.11. EAN-13 (JAN-13)	54
7.12. UPC-A	55
7.13. UPC-E	56
7.14. フロッピアコード & イタリアンコード	57
7.15. PLESSEY	57
7.16. MSI	58
7.17. RSS (GS1 Databar)	60
7.17.1. RSS-14 (GS1 Databar-14)	60
7.17.2. RSS-Expanded (GS1 Databar-Expanded)	61
7.17.3. RSS-Limited (GS1 Databar-Limited)	61
7.18. Telepen	62
8. データフォーマットに関する設定	63
8.1. 大文字・小文字変換送信	63
8.2. キャラクタ置換	64
8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシボール	65
8.3. プリフィックス/サフィックス	68
8.4. コード ID	69
8.4.1. ユーザーコード ID	70
8.5. 読取データ桁数	73
8.6. マルチバーコードタイプ	75
9. データ編集機能に関する設定	77
9.1. 編集パターン設定開始	78
9.2. 適用条件	79
9.3. フィールド分指定義	82
9.4. フィールド送信順序	89
9.5. 編集パターンの有効化	90
補足 A キーボードコード表 & ASCII コード表	91
補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表	92
補足 C シリアルコマンド	93
補足 D トラブルシューティング	94
補足 E サンプルバーコード	95
修理依頼書	96

1. はじめに

この度は、弊社バーコードリーダーをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、バーコードリーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているQRコードを読み取ることで、バーコードリーダーのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

2. システムコマンド

2.1. 基本システムコマンド

コマンドバーコード	説明
 8647116687323180	<u>設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 109999	<u>設定終了</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モードを終了します。
 109993	<u>全デフォルト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 109998	<u>設定キャンセル</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を元の状態に戻します。続けて、「設定終了」をスキャンすることで、元の状態のまま、設定モードを終了することができます。
 109986	<u>カスタムデフォルトとして保存</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容をカスタムデフォルトとして保存します。
 109987	<u>カスタムデフォルトでリセット</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、カスタムデフォルト値でリセットします。
 109997	<u>ファームウェアダウンロード</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、ファームウェアダウンロードモードになります。RS232C インターフェイス(115.2K/8/n/1)経由でファームウェアをダウンロードします。

2.2. パラメータ設定値出力コマンド

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 109950	パラメータ設定値出力 ^-Z 1 出力内容 : インフェイス, プザ- , その他バーコードリーダーパラメータ	
 109951	パラメータ設定値出力 ^-Z 2 出力内容 : プリフィックス, ホストフィックス, コード桁数送信	
 109952	パラメータ設定値出力 ^-Z 3 出力内容 : コード ID	
 109953	パラメータ設定値出力 ^-Z 4 出力内容 : 読取コード	
 109954	パラメータ設定値出力 ^-Z 5 出力内容 : 読取コードパラメータ(1/3)	
 109955	パラメータ設定値出力 ^-Z 6 出力内容 : 読取コードパラメータ(2/3)	
 109956	パラメータ設定値出力 ^-Z 7 出力内容 : 読取コードパラメータ(3/3)	
 109957	パラメータ設定値出力 ^-Z 8 出力内容 : デイットフォーマット 1	
 109958	パラメータ設定値出力 ^-Z 9 出力内容 : デイットフォーマット 2	
 109959	パラメータ設定値出力 ^-Z 10 出力内容 : デイットフォーマット 3	
 109937	パラメータ設定値出力 ^-Z 11 出力内容 : デイットフォーマット 4	
 109938	パラメータ設定値出力 ^-Z 12 出力内容 : デイットフォーマット 5	

3. バーコードリーダーの簡単セットアップ

3.1. インターフェイスの初期化

USB キーボード インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100009	USB キーボード I/F 設定
 109907	キーボードタイプ番号 74 日本語 106/109 キーボード
 109904	
 109994	確定
 109999	設定終了

※ 設定完了後、PC 及びハブアダプターの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

USB バーチャル COM(USB-COM)インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100008	USB バーチャル COM I/F 設定
 109999	設定終了

※ 設定完了後、PC 及びハブアダプターの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

キーボードインターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100000	キーボード I/F 設定
 109901	キーボードタイプ番号 12 日本語 106/109 キーボード
 109902	
 109994	確定
 109999	設定終了

※ 設定完了後、PC 及びハブ-スワッチの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

RS232C インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100001	RS232C I/F 115.2Kbps/8/N/1 ハブタイプ無し
 100084	115.2Kbps → 9.6Kbps
 109999	設定終了

※ 設定完了後、PC 及びハブ-スワッチの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

3.2. プリフィックス/サフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったバーコードの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データです。

プリフィックス	バーコードデータ	サフィックス
---------	----------	--------

初期状態では、プリフィックス:無し、サフィックス:CR(インターキー)です。変更が必要な場合は、下記から希望する専用メニューバーコードを順番に読み取ってください。任意の文字列を設定したい場合は、「プリフィックス/サフィックス」を参照ください。

プリフィックス:無し/サフィックス:CR(インターキー)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:CR(インターキー)
 109900	0
 109913	D
 109994	確定
 109999	設定終了

プリフィックス:無し/サフィックス:エンターキー(テンキー)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:エンターキー(テンキー)
 109908	8
 109915	F
 109994	確定
 109999	設定終了

プリフィックス:無し/サフィックス:TABキー

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:TABキー
 109900	0
 109909	9
 109994	確定
 109999	設定終了

フリックス:無し/サフィックス:CR/LF

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	フリックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:CR/LF
 109900	0
 109913	D
 109900	0
 109910	A
 109994	確定
 109999	設定終了

フリックス:STX/サフィックス:ETX

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	フリックス:STX
 109900	0
 109902	2
 109994	確定
 101231	サフィックス:ETX
 109900	0
 109903	3
 109994	確定
 109999	設定終了

4. 一般動作に関するパラメータ

4.1. グットリッド LED

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101013	無し	
 101014	有り	■

4.2. グットリッド LED の長さ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101020	グットリッド LED の長さ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~254で、単位は10ミリ秒です。例えば、2秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「2」「0」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	004

数値バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

4.3. ビープの音量

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101009	無し	
 101010	小	
 101011	中	
 101012	大	■

[注意] 1000A シリーズは、ブザー音量の調整には対応していません。

4.4. グットリードビープの音色

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101001	8KHz	
 101002	4KHz	■
 101003	2KHz	
 101004	1KHz	

4.5. グットリドビーブの長さ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101005	短い	■
 101006	普通	
 101007	長い	
 101008	最長	

4.6. ノーリード (NR)送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100266	無し	■
 100267	有り	

5. 読取動作に関するパラメータ

5.1. 読取モード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 0 1	<u>コンテンツモード</u> 常にスキャンを試みます。	
 1 0 0 2 0 6	<u>レザモード</u> トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。設定された読取タイムアウトを経過した場合もスキャンを終了します。	■
 1 0 0 2 0 0	<u>オートモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。	
 1 0 0 2 0 2	<u>オートワオモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。設定された読取タイムアウト内にバーコードの読み取りに成功しなければ、スキャンを終了します。バーコードの読み取りに成功すると、読取タイムアウトはリセットされ、再加入されます。	
 1 0 0 2 0 8	<u>エイミングモード</u> トリガボタンを一度押すと、ビームを照射し、エイミングモードに移行します。設定されたエイミングタイムアウト内に再度トリガボタンを押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。このモードは、ビームで目的のバーコードを確実に狙った後、スキャンを行いたい場合に使用します。	
 1 0 0 2 0 9	<u>マルチバーコードモード</u> トリガボタンを押している間、読取タイムアウトに関係無くスキャンを試みます。このモードは、一度に複数のバーコードをスキャンしたい場合に使用します。	
 1 0 0 2 0 7	<u>テストモード</u> テスト用途でのみ使用するモードです。	

5.2. 読取タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

- レーザモード
- オートオフモード
- オートパワーオフモード
- イミットモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100235	読取タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、15秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.3. イミング タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

➤ イミングモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100226	イミングタイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は0~15です。例えば、15秒に設定したい場合は、「設定開始」「イミングタイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.4. デコード delay

このパラメータは、次の読取モードに有効です。

- コンティニアスモード
- オートパワーオフモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100227	無し	
 100228	0.5 秒	■
 100229	1 秒	
 100230	2 秒	

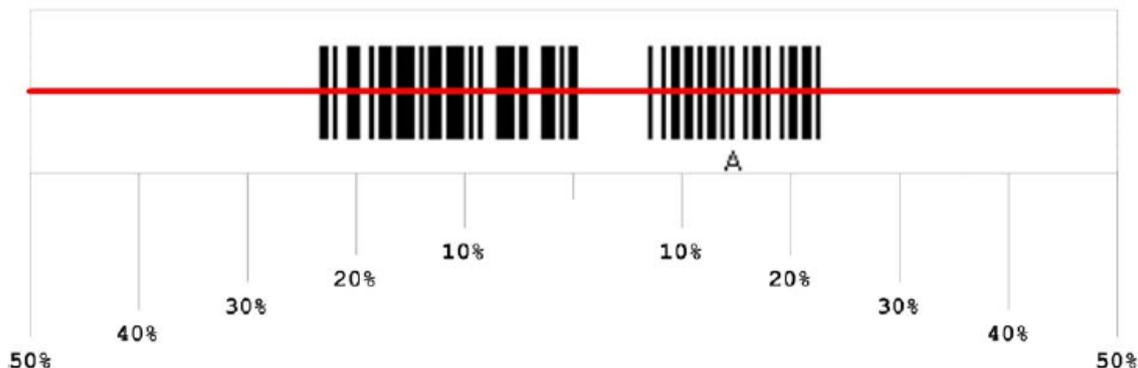
5.5. 同一コード読取 delay

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100216	100 ミリ秒	
 100217	200 ミリ秒	
 100218	400 ミリ秒	■
 100219	800 ミリ秒	
 100220	1 秒	
 100221	2 秒	
 100222	3 秒	
 100223	5 秒	

5.6. 読取エリア

読取エリア指定を有りに設定し、左右のエリアをパーセンテージで指定することで読取エリアを限定することができます。例えば、下記のように2つのバーコードがビーム上にある場合でも、左10%、右30%を指定すれば、右のバーコード A だけを確実に読み取ることが可能になります。

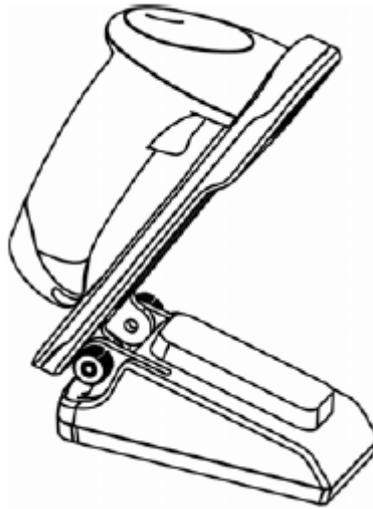


設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 7 8	読取エリア指定 無し	■
 1 0 0 2 7 9	読取エリア指定 有り	
 1 0 0 2 8 0	読取エリア 左 50%	■
 1 0 0 2 8 1	読取エリア 左 40%	
 1 0 0 2 8 2	読取エリア 左 30%	
 1 0 0 2 8 3	読取エリア 左 20%	
 1 0 0 2 8 4	読取エリア 左 10%	
 1 0 0 2 8 8	読取エリア 右 10%	
 1 0 0 2 8 9	読取エリア 右 20%	
 1 0 0 2 9 0	読取エリア 右 30%	
 1 0 0 2 9 1	読取エリア 右 40%	
 1 0 0 2 9 2	読取エリア 右 50%	■

5.7. オートセンスモード

オートセンスモードを有効にすると、下記のように専用スタンドにバーコードリーダーをセットした状態で、読取エリア内にバーコードを近づけると、自動的にビームを照射してスキャンを行います。



設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100270	無効	■
 100271	有効	
 101469	高感度	
 101468	ノーマル感度	■

※ オートセンスモードを有効にすると、読取モードが強制的にレザモードとなります。他の読取モードをご使用になる場合は、オートセンスモードを無効にした後、読取モードを再設定する必要があります。

5.8. 初 (反転)バーコード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100224	読み取り 無し	■
 100225	読み取り 有り	

5.9. 読取照合回数(全バーコードシリアル対象)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100262	無し	■
 100263	1回	
 100264	2回	
 100265	3回	

5.10. 7桁バーコード読取照合回数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100380	7桁バーコード読取照合回数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~30です。例えば、10回に設定したい場合は、「設定開始」「7桁バーコード読取照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6. インターフェイスに関するパラメータ

6.1. キーボードインターフェイス

6.1.1. キーボードタイプ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100000	キーボードインターフェイス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて2桁のキーボードタイプ番号をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。キーボードタイプ番号は下記の表を参照ください。例えば、日本語キーボードに設定する場合は、「設定開始」「キーボードインターフェイス」「1」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ
1	PC-AT (US)	11	PS55 A01-1	21	PS55 002-81,003-81
2	PC-AT (French)	12	PS55 A01-2(日本語キーボード)	22	PS55 002-2,003-2
3	PC-AT (German)	13	PS55 A01-3	23	PS55 002-82,003-82
4	PC-AT (Italy)	14	PS55 001-1	24	PS55 002-3,003-3
5	PC-AT (Swedish)	15	PS55 001-81	25	PS55 002-8A,003-8A
6	PC-AT (Norwegian)	16	PS55 001-2	26	IBM3477 TYPE 4
7	PC-AT (UK)	17	PS55 001-82	27	PS2-30
8	PC-AT (Belgium)	18	PS55 001-3	28	Memorex Telex122 Key
9	PC-AT (Spanish)	19	PS55 001-8A	29	-
10	PC-AT (Portuguese)	20	PS55 002-1, 003-1	30	PC-AT (Turkish)

6.1.2. CAPS 切替

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100052	CAPS 切替オフ	■
 100053	CAPS 切替オン	
 100054	自動検出	

※ 自動検出は、一部のバーコードで正しく動作しない場合があります。

6.1.3. アルファベット送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100050	大文字・小文字を考慮	■
 100051	CAPS 切替状態に従う	

6.1.4. 数字送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100040	フルキーボード	■
 100041	テンキーボード	

6.1.5. ALT シーケンス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100056	ALT シーケンスで送信しない	■
 100057	ALT シーケンスで送信する	

6.1.6. 外付キーボード接続

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100059	無し(ノートパソコンモード)	
 100058	有り	■

6.1.7. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100011	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.1.8. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100012	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255(設定値表を参照)です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

設定値	デレイタイム	設定値	デレイタイム
0	無し	195~204	200 ミリ秒
1~14	10 ミリ秒	205~214	210 ミリ秒
15~24	20 ミリ秒	215~224	220 ミリ秒
25~34	30 ミリ秒	225~234	230 ミリ秒
35~44	40 ミリ秒	235~244	240 ミリ秒
45~54	50 ミリ秒	245~254	250 ミリ秒
:	:		

6.2. RS232C インターフェイス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100001	RS232C インターフェイスを使用する	

6.2.1. ボーレート

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100080	11,5200bps	■
 100081	57,600bps	
 100082	38,400bps	
 100083	19,200bps	
 100084	9,600bps	
 100085	2,400bps	
 100086	1,200bps	
 100087	600bps	

6.2.2. データビット

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100093	8ビット	■
 100092	7ビット	

6.2.3. パリティ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100088	無し	■
 100090	偶数	
 100091	奇数	

6.2.4. ストップビット

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100098	1ビット	■
 100099	2ビット	

6.2.5. フロー制御

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100094	無し フローコントロールを行いません。	■
 100095	スケッチ リーダーは電源が投入されると、RTS ラインをアクティブにします。読取データは、CTS ラインがアクティブになると、送信されます。	
 100096	データ リーダーはデータを読み取ると、RTS ラインをアクティブにし、CTS ラインがアクティブになると、読取データを送信します。	
 100097	データ(反転) RTS 回路の論理が反転することを除いて、データと同じ動作を行います。	

6.2.6. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100011	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.2.7. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100012	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

6.2.8. ACK/NAK タイムアウト

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100013	<p>ACK/NAK タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~99(0.1秒単位)です。例えば、1秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK/NAK タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p> <p>ACK/NAK 動作 リーダーは、読取データ送信後、ここで設定された時間 ACK/NAK 応答を待ちます。何の応答も得られない場合、3回迄読取データを再送し、全て失敗した場合は、その読取データを破棄します。</p>	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.2.9. ACK/NAK エラービート

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100014	無し	■
 100015	有り	

6.3. USB キーボード インターフェイス(HID)

6.3.1. キーボードタイプ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト
 100009	USB キーボード インターフェイス(HID) 左のコマンドバーストをスキャンした後、続けて2桁のキーボードタイプ番号をスキャンし、最後に設定終了バーストをスキャンします。キーボードタイプ番号は下記の表を参照ください。例えば、日本語 USB キーボードに設定する場合は、「設定開始」「キーボード インターフェイス」「7」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	64
数値バースト		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ
64	PC-AT (US)	74	PS55 A01-2(日本語キーボード)
65	PC-AT (French)	75	-
66	PC-AT (German)	76	PC-AT(Turkish)
67	PC-AT (Italy)		
68	PC-AT (Swedish)		
69	PC-AT (Norwegian)		
70	PC-AT (UK)		
71	PC-AT (Belgium)		
72	PC-AT (Spanish)		
73	PC-AT (Portuguese)		

6.3.2. CAPS 切替

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100052	CAPS 切替オフ	■
 100053	CAPS 切替オン	
 100054	自動検出	

※ 自動検出は、一部のバリコで正しく動作しない場合があります。

6.3.3. アルファベット送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100050	大文字・小文字を考慮	■
 100051	CAPS 切替状態に従う	

6.3.4. 数字送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100040	フルキーボード	■
 100041	テンキーボード	

6.3.5. HID 送信モード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100064	パッチ送信	■
 100065	キャラクタ送信	

※ PC側でデータの桁落ちなどが発生する場合は、「キャラクタ送信」をお試しください。

6.3.6. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100011	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

6.3.7. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100012	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255(設定値表を参照)です。例えば、10ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

設定値	デレイ値	設定値	デレイ値
0	無し	195~204	200 ミ秒
1~14	10 ミ秒	205~214	210 ミ秒
15~24	20 ミ秒	215~224	220 ミ秒
25~34	30 ミ秒	225~234	230 ミ秒
35~44	40 ミ秒	235~244	240 ミ秒
45~54	50 ミ秒	245~254	250 ミ秒
:	:		

6.4. USB バーチャル COM インターフェイス(VCP)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 0 8	USB バーチャル COM インターフェイスを使用する	

6.4.1. ファクション間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255(設定値表を参照)です。例えば、10ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファクション間送信デレイは、ファクションコード(01hex~1Fhex)が送信された後に挿入されます。

設定値	デレイ値	設定値	デレイ値
0	無し	195~204	200 ミ秒
1~14	10 ミ秒	205~214	210 ミ秒
15~24	20 ミ秒	215~224	220 ミ秒
25~34	30 ミ秒	225~234	230 ミ秒
35~44	40 ミ秒	235~244	240 ミ秒
45~54	50 ミ秒	245~254	250 ミ秒
:	:		

6.4.2. ACK/NAK タイムアウト

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100013	<p>ACK/NAK タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~99(0.1秒単位)です。例えば、1秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK/NAK タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。</p> <p>ACK/NAK 動作 リーダーは、読取データ送信後、ここで設定された時間 ACK/NAK 応答を待ちます。何の応答も得られない場合、3回迄読取データを再送し、全て失敗した場合は、その読取データを破棄します。</p>	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.4.3. ACK/NAK エラービート

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100014	無し	■
 100015	有り	

7. バーコードシMBOLに関するパラメータ

7.1. コーダバー(NW7)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 2	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 3	読み取り有り	■
 1 0 0 4 3 6	スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd	■
 1 0 0 4 3 7	スタート/ストップ キャラクタ abcd/tn*e	
 1 0 0 4 3 8	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/ABCD	
 1 0 0 4 3 9	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/TN*E	
 1 0 0 4 4 0	スタート/ストップ キャラクタ送信無し	■
 1 0 0 4 4 1	スタート/ストップ キャラクタ送信有り	
 1 0 0 4 4 2	CLSI 変換無し	■
 1 0 0 4 4 3	CLSI 変換有り	

7.2. インダストリアル 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 7	読み取り有り	■
 1 0 0 4 1 2	スタート/ストップパターン インダストリアル 2/5	■
 1 0 0 4 1 3	スタート/ストップパターン インターリード 2/5	
 1 0 0 4 1 4	スタート/ストップパターン マトリクス 2/5	
 1 0 0 4 2 4	チェックビット検査無し	■
 1 0 0 4 2 5	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 2 6	チェックビット送信無し	■
 1 0 0 4 2 7	チェックビット送信有り	
 1 0 0 6 0 1	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 0	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツドバーコード	説明	デフォルト
 100602	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	127
 100603	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.3. インターリーブド 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 8	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 9	読み取り有り	■
 1 0 0 4 1 6	スタート/ストップパターン インダストリアル 2/5	
 1 0 0 4 1 7	スタート/ストップパターン インターリーブド 2/5	■
 1 0 0 4 1 8	スタート/ストップパターン マトリクス 2/5	
 1 0 0 4 2 8	チェックビット検査無し	■
 1 0 0 4 2 9	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 3 0	チェックビット送信無し	■
 1 0 0 4 3 1	チェックビット送信有り	
 1 0 0 6 0 5	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 4	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100606	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	126
 100607	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.4. マトリクス 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 1 1	読み取り有り	
 1 0 0 4 2 0	スタート/ストップパターン インダストリアル 2/5	
 1 0 0 4 2 1	スタート/ストップパターン インターリード 2/5	
 1 0 0 4 2 2	スタート/ストップパターン マトリクス 2/5	■
 1 0 0 4 3 2	チェックビット検査無し	■
 1 0 0 4 3 3	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 3 4	チェックビット送信無し	0 ■
 1 0 0 4 3 5	チェックビット送信有り	
 1 0 0 6 0 9	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 8	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100610	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	127
 100611	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4

数値バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

7.5. コード 39

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 0	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 1	読み取り有り	■
 1 0 0 4 0 2	スタート/ストップ キャラクタ 送信無し	■
 1 0 0 4 0 3	スタート/ストップ キャラクタ 送信有り	
 1 0 0 4 0 4	チェックビット検査無し	
 1 0 0 4 0 5	チェックビット検査有り	
 1 0 0 4 0 6	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 0 7	チェックビット送信有り	■
 1 0 0 4 0 0	ルアスキー読み取り無し	■
 1 0 0 4 0 1	ルアスキー読み取り有り	

7.6. コード 93

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100314	読み取り無し	
 100315	読み取り有り	■

7.7. コード 128

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100316	読み取り無し	
 100317	読み取り有り	■

7.8. ISBT-128

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100354	読み取り無し	■
 100355	読み取り有り	

7.9. EAN-128(GS1-128)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100318	読み取り無し	■
 100319	読み取り有り	
 100518	コマンド ID "JCI" 送信無し	■
 100519	コマンド ID "JCI" 送信有り	
 100616	GS(FNC1)置換キャラクタ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコマンドをスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、@(40hex)に設定したい場合は、「設定開始」「GS(FNC1)置換キャラクタ」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	00

16進数バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

7.10. EAN-8(JAN-8)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 2 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 2 7	読み取り有り	■
 1 0 0 3 2 8	アドカ2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 9	アドカ2 読み取り有り	
 1 0 0 3 3 0	アドカ5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 1	アドカ5 読み取り有り	
 1 0 0 4 6 0	EAN-13 変換無し	■
 1 0 0 4 6 1	EAN-13 変換有り	
 1 0 0 4 7 0	チェックビット送信無し	
 1 0 0 4 7 1	チェックビット送信有り	■

7.11. EAN-13(JAN-13)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100332	読み取り無し	
 100333	読み取り有り	■
 100334	アトカ2 読み取り無し	■
 100335	アトカ2 読み取り有り	
 100336	アトカ5 読み取り無し	■
 100337	アトカ5 読み取り有り	
 100462	ISBN 変換無し	■
 100463	ISBN 変換有り	
 100464	ISSN 変換無し	■
 100465	ISSN 変換有り	
 100472	チェックビット送信無し	
 100473	チェックビット送信有り	■

7.12. UPC-A

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100338	読み取り無し	
 100339	読み取り有り	■
 100340	アトカ2読み取り無し	■
 100341	アトカ2読み取り有り	
 100342	アトカ5読み取り無し	■
 100343	アトカ5読み取り有り	
 100458	EAN-13 変換無し	■
 100459	EAN-13 変換有り	
 100476	システムメッセージ送信無し	
 100477	システムメッセージ送信有り	■
 100468	チェックビット送信無し	
 100469	チェックビット送信有り	■

7.13. UPC-E

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100320	読み取り無し	
 100321	読み取り有り	■
 100322	アドバンス2 読み取り無し	■
 100323	アドバンス2 読み取り有り	
 100324	アドバンス5 読み取り無し	■
 100325	アドバンス5 読み取り有り	
 100478	UPC-E0 (システム番号 - 0) & E1 (システム番号 - 1) 両方を読み取り	
 100479	UPC-E0 (システム番号 - 0) のみ読み取り有り	■
 100456	UPC-A 変換無し	■
 100457	UPC-A 変換有り	
 100474	システム番号 - 送信無し	
 100475	システム番号 - 送信有り	■
 100466	チェックディジット送信無し	
 100467	チェックディジット送信有り	■

7.14. フレンチファーマコード & イタリアンファーマコード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 4	フレンチファーマコード 読み取り無し	■
 1 0 0 3 0 5	フレンチファーマコード 読み取り有り	
 1 0 0 4 1 0	フレンチファーマコード チェックデジット送信無し	
 1 0 0 4 1 1	フレンチファーマコード チェックデジット送信有り	■
 1 0 0 3 0 2	イタリアンファーマコード 読み取り無し	■
 1 0 0 3 0 3	イタリアンファーマコード 読み取り有り	
 1 0 0 4 0 8	イタリアンファーマコード チェックデジット送信無し	
 1 0 0 4 0 9	イタリアンファーマコード チェックデジット送信有り	■

7.15. PLESSEY

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 6	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 7	読み取り有り	
 1 0 0 4 4 6	UK PLESSEY 変換無し	■
 1 0 0 4 4 7	UK PLESSEY 変換有り	
 1 0 0 4 4 4	チェックデジット送信無し	
 1 0 0 4 4 5	チェックデジット送信有り	■

7.16. MSI

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100344	読み取り無し	■
 100345	読み取り有り	
 100448	チェックビットタイプ シングル-ビット 10 10	
 100449	チェックビットタイプ ダブル-ビット 10 10	
 100450	チェックビットタイプ ビット 10 10 & 11	■
 100452	チェックビット送信 (最後 1 桁) 無し	■
 100453	チェックビット送信 (2 桁両方) 有り	
 100454	チェックビット送信 (2 桁両方) 無し	
 100613	最大/最小読取桁数検査	■
 100612	固定読取桁数 1 / 固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツドバーコード	説明	デフォルト
 100614	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマツドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	127
 100615	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマツドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4

数値バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
確定  109994	

7.17. RSS(GS1 Databar)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100517	RSS コード ID "Jc1" を使用	
 100516	RSS コード ID "Je0" を使用	■

7.17.1. RSS-14(GS1 Databar-14)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100348	読み取り無し	■
 100349	読み取り有り	
 100522	RSS-14 コード ID 送信無し	
 100523	RSS-14 コード ID 送信有り	■
 100528	RSS-14 アプリケーション ID "010" 送信無し	
 100529	RSS-14 アプリケーション ID "010" 送信有り	■
 100480	チェックサム送信無し	
 100481	チェックサム送信有り	■

7.17.2. RSS-Expanded(GS1 Databar-Expanded)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100348	読み取り無し	■
 100349	読み取り有り	
 100526	RSS-Expanded コード ID 送信無し	
 100527	RSS-Expanded コード ID 送信有り	■

7.17.3. RSS-Limited(GS1 Databar-Limited)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100350	読み取り無し	■
 100351	読み取り有り	
 100524	RSS-Limited コード ID 送信無し	
 100525	RSS-Limited コード ID 送信有り	■
 100530	RSS-Limited アプリケーション ID "010" 送信無し	
 100531	RSS-Limited アプリケーション ID "010" 送信有り	■
 100482	チケットシート送信無し	
 100483	チケットシート送信有り	■

7.18. Telepen

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100532	読み取り無し	■
 100533	読み取り有り	
 100484	リジナル Telepen	
 100485	AIM(フルアスキー) Telepen	■

8. データフォーマットに関する設定

読取データは、下記の基本データフォーマットに従って、送信されます。

基本データフォーマット				
プレフィックス	コード ID	読取データ桁数	読取データ	サフィックス

プレフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

コード ID

無し、任意のキャラクタ又はコード ID セット 1~5 の何れかを送信することができます。

読取データ桁数

読取データ桁数送信を有りに設定した場合、常に 2 バイト長でバーコード桁数が送信されます。

Ex.1) バーコードが 8 桁の場合 08

Ex.2) バーコードが 40 桁の場合 40

読取データ

読取データが送信されます。また、データ編集機能を使うことで、読取データを任意に編集することも可能です。

サフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

8.1. 大文字・小文字変換送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101202	そのまま送信(変換無し)	■
 101203	全て大文字送信(大文字変換)	
 101204	全て小文字送信(小文字変換)	■

8.2. キャラクタ置換

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101232	キャラクタ置換セット1 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、@(40hex)をA(40hex)に置換したい場合は、「設定開始」「キャラクタ置換セット1」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 また、指定キャラクタを除去することも可能で、例えば、@(40hex)を除去したい場合は、「設定開始」「キャラクタ置換セット1」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 101233	キャラクタ置換セット2 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
 101234	キャラクタ置換セット3 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
16進数バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

- ※ キャラクタ置換は、データデット前の読取データに対してのみ適用されます。
- ※ キャラクタ置換は、3組まで定義でき、この機能を使用して、指定キャラクタを除去することも可能です。

8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシンボル

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 5 2	コードバー(NW7)に適用しない	
 1 0 1 2 5 3	コードバー(NW7)に適用する	■
 1 0 1 2 4 0	コード 39 に適用しない	
 1 0 1 2 4 1	コード 39 に適用する	■
 1 0 1 2 5 4	コード 93 に適用しない	
 1 0 1 2 5 5	コード 93 に適用する	■
 1 0 1 2 5 6	コード 128 に適用しない	
 1 0 1 2 5 7	コード 128 に適用する	■
 1 0 1 2 5 8	EAN-128(GS1-128)に適用しない	
 1 0 1 2 5 9	EAN-128(GS1-128)に適用する	■
 1 0 1 2 6 6	EAN-8(JAN-8)に適用しない	
 1 0 1 2 6 7	EAN-8(JAN-8)に適用する	■
 1 0 1 2 6 8	EAN-8(JAN-8)タイプ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 6 9	EAN-8(JAN-8)タイプ 2 に適用する	■
 1 0 1 2 7 0	EAN-8(JAN-8)タイプ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 7 1	EAN-8(JAN-8)タイプ 5 に適用する	■
 1 0 1 2 7 2	EAN-13(JAN-13)に適用しない	
 1 0 1 2 7 3	EAN-13(JAN-13)に適用する	■
 1 0 1 2 7 4	EAN-13(JAN-13)タイプ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 7 5	EAN-13(JAN-13)タイプ 2 に適用する	■

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コードバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 6	EAN-13 (JAN-13) アドカ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 7 7	EAN-13 (JAN-13) アドカ 5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 4	フロッピーコード に適用しない	
 1 0 1 2 4 5	フロッピーコード に適用する	■
 1 0 1 2 4 2	イタリアンコード に適用しない	
 1 0 1 2 4 3	イタリアンコード に適用する	■
 1 0 1 2 4 6	インタリアル 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 7	インタリアル 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 8	インターブド 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 9	インターブド 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 5 0	マトリクス 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 5 1	マトリクス 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 8 4	MSI に適用しない	
 1 0 1 2 8 5	MSI に適用する	■
 1 0 1 2 8 6	PLESSEY に適用しない	
 1 0 1 2 8 7	PLESSEY に適用する	■
 1 0 1 2 9 0	RSS (GS1 Databar) に適用しない	
 1 0 1 2 9 1	RSS (GS1 Databar) に適用する	■
 1 0 1 2 8 8	Telepen に適用しない	
 1 0 1 2 8 9	Telepen に適用する	■

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コードバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 8	UPC-A に適用しない	
 1 0 1 2 7 9	UPC-A に適用する	■
 1 0 1 2 8 0	UPC-A 外カ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 8 1	UPC-A 外カ 2 に適用する	■
 1 0 1 2 8 2	UPC-A 外カ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 8 3	UPC-A 外カ 5 に適用する	■
 1 0 1 2 6 0	UPC-E に適用しない	
 1 0 1 2 6 1	UPC-E に適用する	■
 1 0 1 2 6 2	UPC-E 外カ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 6 3	UPC-E 外カ 2 に適用する	■
 1 0 1 2 6 4	UPC-E 外カ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 6 5	UPC-E 外カ 5 に適用しない	■

8.3. フリックス/サフィックス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101230	フリックス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12(31hex,32hex)と設定したい場合は、「設定開始」「フリックス」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「フリックス」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 101231	サフィックス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12(31hex,32hex)と設定したい場合は、「設定開始」「サフィックス」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「サフィックス」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
16進数バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのシフトネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1キャラクタとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大4スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.4. コード ID

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 109961	コード ID セット 1 を使用	
 109962	コード ID セット 2 を使用	
 109963	コード ID セット 3 を使用	
 109964	コード ID セット 4 を使用	
 109965	コード ID セット 5 を使用	

バーコードシンボル	コード ID セット 1	コード ID セット 2	コード ID セット 3	コード ID セット 4	コード ID セット 5
コード 39	A	C	Y	M	A
イタリアンファーマコード	A	C	Y	M	A
フィンチファーマコード	A	C	Y	M	A
インターストリアル 2/5	C	H	H	H	S
インターブド 2/5	D	I	Z	I	S
マトリクス 2/5	E	G	G	G	S
データバー(NW7)	F	N	X	N	F
コード 93	I	L	L	L	G
コード 128	H	K	K	K	C
UPC-E	S	E	C	E	E
EAN-8 (JAN-8)	P	B	B	FF	E
EAN-13 (JAN-13)	M	A	A	F	E
UCP-A	J	A	A	A	E
MSI	V	V	D	P	M
PLESSEY	W	W	E	Q	P
Telepen	Z	---	---	---	---

8.4.1. ユーザーコード ID

ユーザーコード ID を定義したいバーコードシンボルトイプを選択した後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを最大 2 文字ずつ定義し、最後に設定終了バーコードを選択します。例えば、12 (31hex, 32hex) と設定したい場合は、「設定開始」「定義したいバーコードシンボルトイプ」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順で選択します。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

バーコードシンボルトイプ	
コードバー (NW7)  101456	コード 39  101450
コード 93  101457	コード 128  101458
EAN-8 (JAN-8)  101460	EAN-13 (JAN-13)  101461
16 進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのシフトネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 文字として、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

バーコードシンボルトイプ

フォンツァーマコード  101452	イタリアンフォーマコード  101451
インダストリアル 2/5  101453	インタープド 2/5  101454
マトリクス 2/5  101455	MSI  101463
PLESSEY  101464	Telepen  101465

16進数バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定

 109994

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キャラクとして、加わされます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

16進数バーコード	
UPC-A  101462	UPC-E  101459
全コード ID 設定クリア  109960	
16進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、1 キヤクタを最大 4 キヤクタまで定義することができます。1 キヤクタコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.5. 読取データ桁数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 4 1 2	コードバー (NW7) に適用しない	■
 1 0 1 4 1 3	コードバー (NW7) に適用する	
 1 0 1 4 0 0	コード 39 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 1	コード 39 に適用する	
 1 0 1 4 1 4	コード 93 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 5	コード 93 に適用する	
 1 0 1 4 1 6	コード 128 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 7	コード 128 に適用する	
 1 0 1 4 1 8	EAN-128 (GS1-128) & RSS (GS1 Databar) に適用しない	■
 1 0 1 4 1 9	EAN-128 (GS1-128) & RSS (GS1 Databar) に適用する	
 1 0 1 4 2 2	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 3	EAN-8 (JAN-8) に適用する	
 1 0 1 4 2 4	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 5	EAN-13 (JAN-13) に適用する	
 1 0 1 4 0 4	フランチファーマコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 5	フランチファーマコード に適用する	
 1 0 1 4 0 2	イタリアファーマコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 3	イタリアファーマコード に適用する	
 1 0 1 4 0 6	インターストリアル 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 7	インターストリアル 2/5 に適用する	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

 1 0 1 4 0 8	インターブド 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 9	インターブド 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 1 0	マトリクス 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 1	マトリクス 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 2 8	MSI に適用しない	■
 1 0 1 4 2 9	MSI に適用する	
 1 0 1 4 3 0	PLESSEY に適用しない	■
 1 0 1 4 3 1	PLESSEY に適用する	
 1 0 1 4 3 2	Telepen に適用しない	■
 1 0 1 4 3 3	Telepen に適用する	
 1 0 1 4 2 6	UPC-A に適用しない	■
 1 0 1 4 2 7	UPC-A に適用する	
 1 0 1 4 2 0	UPC-E に適用しない	■
 1 0 1 4 2 1	UPC-E に適用する	

8.6. マルチバーコードデータ

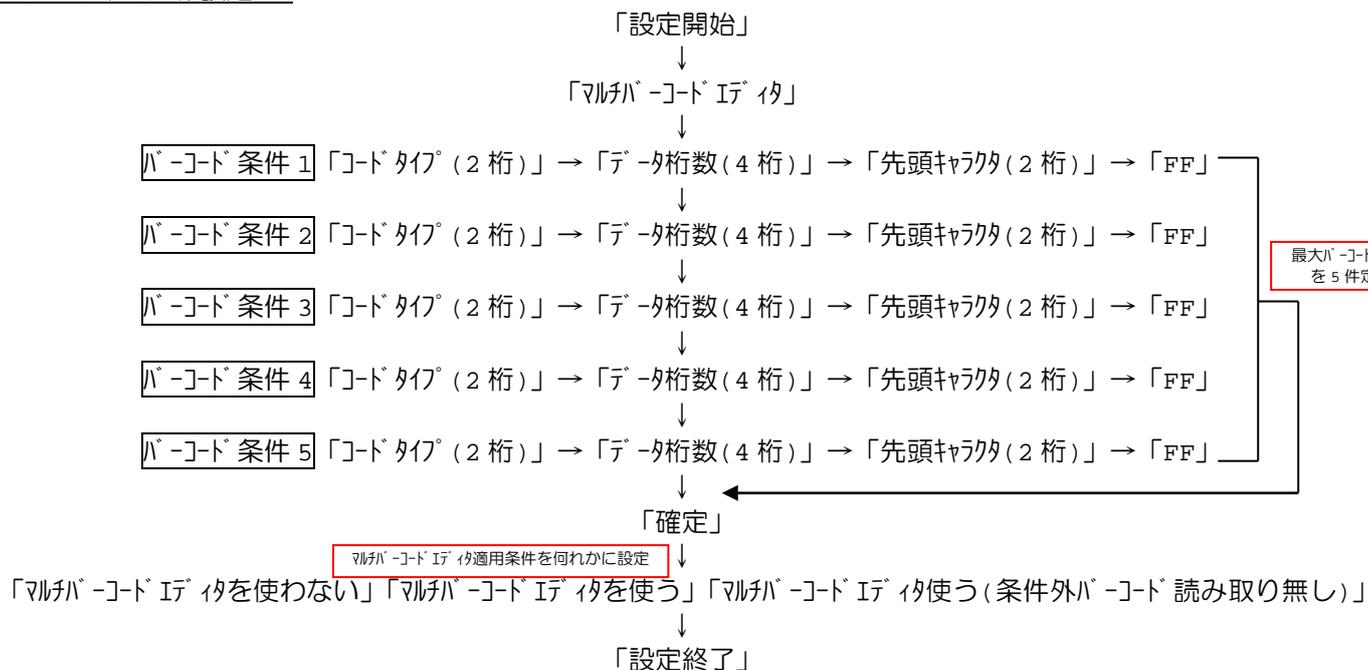
マルチバーコードデータオプションを使うと、条件に合った最大 5 つまでのバーコードシンボルをスキャンし、それらを定義された順番通りに連結して、1 つの読取データとして、送信することができます。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 5 0	マルチバーコードデータ 次頁のマルチバーコードデータ設定70-を参照ください。	
マルチバーコードデータ適用条件		
マルチバーコードデータを使わない  1 0 0 6 1 7	マルチバーコードデータを使う  1 0 0 6 1 8	マルチバーコードデータ使う (条件外バーコード読み取り無し)  1 0 0 6 1 9
16進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ マルチバーコードデータオプションは、マルチバーコードモード（読取モード）には対応しません。

マルチバーコードイテータ設定フロー



「コードタイプ (2桁)」

下記のコードタイプ表で目的のバーコードシンボルに対応する16進数値を調べ、16進数バーコードでスキャンします。

「データ桁数 (4桁)」

対象とするデータ桁数を0000~0128の範囲でスキャンします。0000は全てのデータ桁数が対象となります。

「先頭キャラクタ (2桁)」

対象とする先頭キャラクタのASCIIコード2桁を16進数バーコードでスキャンします。00は全ての先頭キャラクタが対象となります。

「FF」

各バーコード条件の設定区切りを意味するFFをスキャンします。

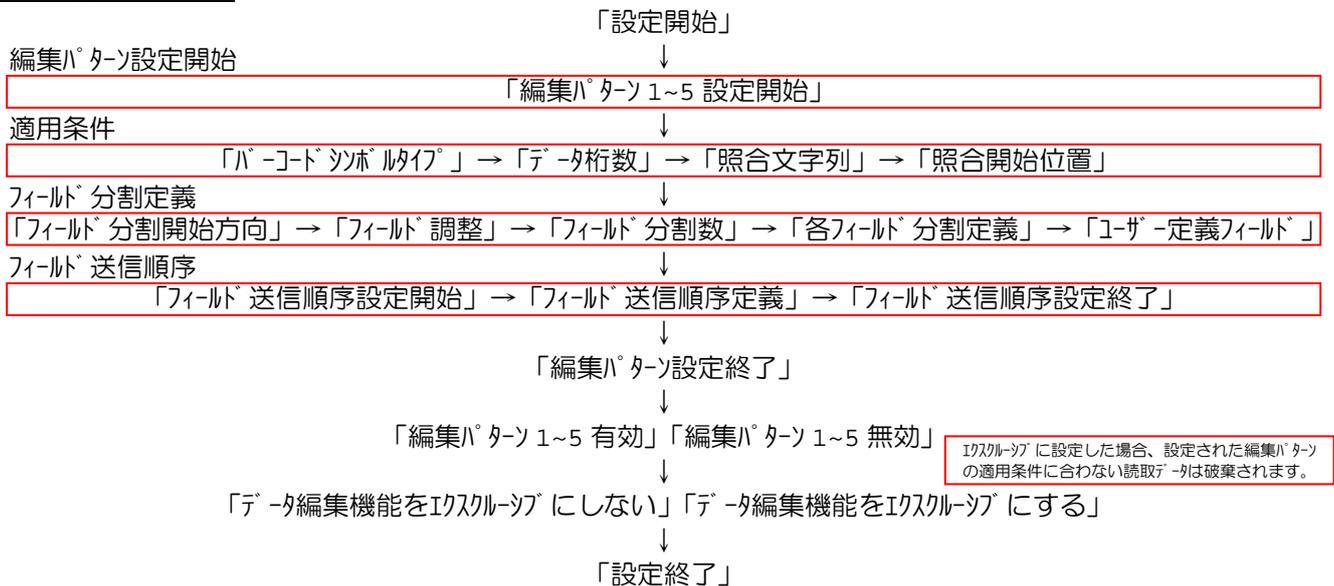
コードタイプ表					
コードタイプ	バーコードシンボル	コードタイプ	バーコードシンボル	コードタイプ	バーコードシンボル
41 (A)	コード 39	4A (J)	UPC-E	53 (S)	MSI
42 (B)	イタリアンファーマコード	4B (K)	UPC-E アドオン2	54 (T)	PLESSEY
43 (C)	フランスファーマコード	4C (L)	UPC-E アドオン5	55 (U)	EAN-128
44 (D)	インターストリアル 2/5	4D (M)	EAN-8 (JAN-8)	56 (V)	UPC-A
45 (E)	インターレポート 2/5	4E (N)	EAN-8 アドオン2	57 (W)	UPC-A アドオン2
46 (F)	マトリクス 2/5	4F (O)	EAN-8 アドオン5	58 (X)	UPC-A アドオン5
47 (G)	コードバ (NW7)	50 (P)	EAN-13 (JAN-13)		
48 (K)	コード 93	51 (Q)	EAN-13 アドオン2	5A (Z)	Telepen
49 (I)	コード 128	52 (R)	EAN-13 アドオン5	5B ([])	RSS-14

9. データ編集機能に関する設定

データ編集機能を使うことで、読取データを指定条件に従って、マルチに編集することができます。
下記にデータ編集機能の特徴を列挙します。

- ✓ 編集パターンを最大 5 パターン(編集パターン 1~5)迄登録することが可能です。
- ✓ 編集パターンは、個別に有効/無効に設定することが可能です。
- ✓ 各編集パターンには、下記の適用条件を指定することが可能です。
 - バーコードシボタイプ
 - データ桁数
 - 照合文字列・照合文字列位置
- ✓ 文字列照合又は文字数を基準として、読取データを最大 6 フィールドに分割可能です。
- ✓ ユーザー定義フィールドを最大 5 つ(ユーザー定義フィールド 1~5)迄登録することが可能です。
- ✓ 分割したフィールド及びユーザー定義フィールドを任意の順序で送信可能です。
送信順序は、最大 12 フィールドの範囲で定義でき、各フィールドは重複送信することも可能です。

データ編集機能設定フロー



9.1. 編集パターン設定開始

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

設定を開始する編集パターン1~5の選択		
 109981	編集パターン1	
 109982	編集パターン2	
 109983	編集パターン3	
 109984	編集パターン4	
 109985	編集パターン5	

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

9.2. 適用条件

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

適用するバーコードシボルトタイプの設定			
全バーコードシボルト  109992	全てクリア  109991	3桁バーコード (NW7)  101513	39桁バーコード  101501
93桁バーコード  101515	128桁バーコード  101517	EAN/JAN-8  101527	EAN/JAN-8 アドオン 2  101529
EAN/JAN-8 アドオン 5  101531	EAN/JAN-13  101533	EAN/JAN-13 アドオン 2  101535	EAN/JAN-13 アドオン 5  101537
EAN-128&RSS  101519	フォントバーコード  101505	イタリアンバーコード  101503	インターストリアル 2/5  101507
インターストリアル 2/5  101509	マトリクス 2/5  101511	MSI  101545	PLESSEY  101547
Telepen  101549	UPC-A  101539	UPC-A アドオン 2  101541	UPC-A アドオン 5  101543
UPC-E  101521	UPC-E アドオン 2  101523	UPC-E アドオン 5  101525	

編集バーコード全タイプ  109990	編集バーコード設定終了  109980
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マツドバーコード	説明	デフォルト
適用するデータ桁数の設定		
 101561	最大データ桁数 左のマツドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~255です。	0
 101560	最小データ桁数 左のマツドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~255です。	0
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

適用する照合文字列の設定		
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101562	照合文字列 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大4文字が設定可能です。	
適用する照合文字列の照合開始位置の設定		
 101563	照合開始位置 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~255です。0を設定した場合は、開始位置に関係無く、照合文字列が読取データ内に存在するかがチェックされます。	
16進数バーコード / 数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

9.3. フィールド分割定義

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

フィールド分割開始方向の設定		
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101600	<u>先頭から後方へ</u> 読取データの先頭から後方へ向かって、フィールド分割を行います。	■
 101601	<u>後方から先頭へ</u> 読取データの後方から先頭へ向かって、フィールド分割を行います。	
フィールド調整の設定		
 101602	<u>調整しない</u> 調整をおこないません。	■
 101603	<u>調整する</u> 桁数が指定より少ない場合、スペース(20hex)を補填します。	
分割フィールド数の設定		
 101590	フィールドを1つに分割	■
 101591	フィールドを2つに分割	
 101592	フィールドを3つに分割	
 101593	フィールドを4つに分割	
 101594	フィールドを5つに分割	
 101595	フィールドを6つに分割	

編集ボタン全デフォルト  109990	編集ボタン設定終了  109980
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド 分割定義

フィールド 1 の分割定義

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101567	指定文字列で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大2文字が設定可能です。また、下記のコマンドバーコードで、分割後のフィールドに指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101566	桁数で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は1~255です。	
指定文字列を含める  101565	指定文字列を含めない  101564	

16進数バーコード / 数値バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド 分割定義

フィールド 2 の分割定義

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101571	指定文字列で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大2文字が設定可能です。また、下記のコマンドバーコードで、分割後のフィールドに指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101570	桁数で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は1~255です。	
指定文字列を含める  101569	指定文字列を含めない  101568	

16進数バーコード / 数値バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド分割定義

フィールド 3 の分割定義

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101575	指定文字列で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大2文字が設定可能です。また、下記のコマンドバーコードで、分割後のフィールドに指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101574	桁数で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は1~255です。	
指定文字列を含める  101573	指定文字列を含めない  101572	

16進数バーコード / 数値バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド分割定義

フィールド 4 の分割定義

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101579	指定文字列で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大2文字が設定可能です。また、下記のコマンドバーコードで、分割後のフィールドに指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101578	桁数で分割 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は1~255です。	
指定文字列を含める  101577	指定文字列を含めない  101576	

16進数バーコード / 数値バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定



編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

各フィールド 分割定義

フィールド 5 の分割定義

コードバーコード	説明	デフォルト
 101583	指定文字列で分割 左のコードバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大2文字が設定可能です。また、下記のコードバーコードで、分割後のフィールドに指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 101582	桁数で分割 左のコードバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は1~255です。	

指定文字列を含める  101581	指定文字列を含めない  101580
--	---

16進数バーコード / 数値バーコード

0	1
 109900	 109901
 109902	 109903
 109904	 109905
 109906	 109907
 109908	 109909
 109910	 109911
 109912	 109913
 109914	 109915

確定  109994

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ フィールド 5 で分割され残った部分が自動的に、フィールド 6 に割り付けられます。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

ユーザ定義フィールドの設定

設定したいユーザ定義フィールドに対応するコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。最大4文字が設定可能です。

ユーザ定義フィールド 1  101584	ユーザ定義フィールド 2  101585	ユーザ定義フィールド 3  101586
ユーザ定義フィールド 4  101587	ユーザ定義フィールド 5  101588	

16進数バーコード

0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915

確定  109994

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

- ※ 「補足 B 16進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALTキーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALTキーは、1文字として、加わされます。
- ※ 「補足 B 16進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、スキャンコードを最大4スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

9.4. フィールド送信順序

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

フィールド送信順序設定開始  101589	
フィールド 1  109901	フィールド 2  109902
フィールド 3  109903	フィールド 4  109904
フィールド 5  109905	フィールド 6  109906
ユーザー定義フィールド 1  109907	ユーザー定義フィールド 2  109908
ユーザー定義フィールド 3  109909	ユーザー定義フィールド 4  109910
ユーザー定義フィールド 5  109911	
フィールド送信順序設定終了  109994	

編集画面全デフォルト  109990	編集画面設定終了  109980
---	---

9.5. 編集パターンの有効化

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 0 0	編集パターン1 無効	■
 1 0 1 3 0 1	編集パターン1 有効	
 1 0 1 3 0 2	編集パターン2 無効	■
 1 0 1 3 0 3	編集パターン2 有効	
 1 0 1 3 0 4	編集パターン3 無効	■
 1 0 1 3 0 5	編集パターン3 有効	
 1 0 1 3 0 6	編集パターン4 無効	■
 1 0 1 3 0 7	編集パターン4 有効	
 1 0 1 3 0 8	編集パターン5 無効	■
 1 0 1 3 0 9	編集パターン5 有効	
 1 0 1 2 0 0	データ編集機能をイクスルーしない	■
 1 0 1 2 0 1	データ編集機能をイクスルーにする	

※ データ編集機能をイクスルーに設定した場合、設定された編集パターンの適用条件に合わない読取データは、全て破棄されます。

補足 A キーボードコード表 & ASCIIコード表

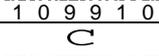
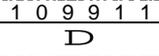
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0		F2	SP	0	@	P	`	p	(0)
1	INS	F3	!	1	A	Q	a	q	(1)
2	DLT	F4	"	2	B	R	b	r	(2)
3	HOME	F5	#	3	C	S	c	s	(3)
4	END	F6	\$	4	D	T	d	t	(4)
5	UP	F7	%	5	E	U	e	u	(5)
6	DOWN	F8	&	6	F	V	f	v	(6)
7	LEFT	F9	'	7	G	W	g	w	(7)
8	BS	F10	(8	H	X	h	x	(8)
9	HT	F11)	9	I	Y	i	y	(9)
A	LF	F12	*	:	J	Z	j	z	
B	RIGHT	ESC	+	;	K	[k	{	
C	PgUp	Exec	,	<	L	¥	l		
D	CR		-	=	M]	m	}	
E	PgDn		.	>	N	^	n	~	
F	F1		/	?	O	_	o	DLY	CR*

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

1. ファンクションキーは、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。
2. CR*はキーボードのENTERキーを意味します。
3. DLYは100ミリ秒のデレイタイムを意味します。
4. (0)...(9)はキーボードの0~9を意味します。
5. 空白部分は未使用のキャラクタです。

補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

キータブ	
ノーマル  109926	スキャンコード  109936
キーステータ	
SHIFT +  109930	左 CTRL+  109931
右 CTRL+  109933	左 ALT+  109932
右 ALT+  109934	
ユーザー定義スキャンコード	
スキャンコード 設定  109988	スキャンコード 確定  109989
16 進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

※ キータブ、キーステータ、ユーザー定義スキャンコードは、キーボードインターフェイス/USBキーボードインターフェイス専用のパラメータです。

補足 C シリアルコマンド

RS232C インターフェイスのバーコードリーダーはシリアルコマンドに対応しています。
専用シリアルコマンドを送信することでバーコードリーダーの設定を変更したり、動作を制御することが可能になります。

下記にシリアルコマンドフォーマットを示します。

シリアルコマンドフォーマット

[#@nnnnnn<CR>](#) * <CR>はキャリッジリターン 0Dhex

nnnn には、本書のコマンドバーコード下にある 6 桁の数字が入ります。設定開始コマンドは必要ありません。

例)

#@100345<CR>	MSI 読み取り有り
#@100225<CR>	反転バーコード読み取り有り
#@109999<CR>	設定終了

シリアルコマンドで設定変更を行った場合でも設定終了コマンドを発行せずにバーコードリーダーの電源をオにすると、設定内容は消えてしまいます。不揮発性メモリに保存したい場合は、電源をオにする前に設定終了コマンドを発行してください。

特別なシリアルコマンド

[D](#) 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、動作を一時休止します。

[E](#) 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

[#@----<CR>](#) 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、動作を一時休止します。

[#@...<CR>](#) 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

[#@////<CR>](#) 読取ブザーコマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、読取ブザーを鳴らします。この時読取 LED も点灯させます。

[#@TRIGON<CR>](#) トリガ ON コマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、バーコードの読み取りを開始します。

[#@TRIGOFF<CR>](#) トリガ OFF コマンド

このコマンドを受信するとバーコードリーダーは、バーコードの読み取りを終了します。

※ シリアルコマンドを送信する場合、各コマンド間に最低 500msec の間隔を空けて送信してください。また、設定終了やキャンセルなどバーコードリーダーのリセット動作を伴うコマンドの場合は、1 秒以上間隔を空けるようにしてください。

補足 D トラブルシューティング

電源が入らない

- ✓ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ✓ ACアダプタ (RS232Cタイプ) は正しく接続されていますか？
- ✓ PCの電源 (キーボード / USBタイプ) は入っていますか？

バーコードを読み取らない

- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 汚れたバーコード、劣化したプリンタで印刷したバーコード、複写したバーコードなど、品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- ✓ 対象のバーコードタイプを読み取れるように設定していますか？
- ✓ チェックゲジツが追加されていないバーコードに対して、チェックゲジツ検査有りとして設定していませんか？
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

バーコードを読み取りづらい

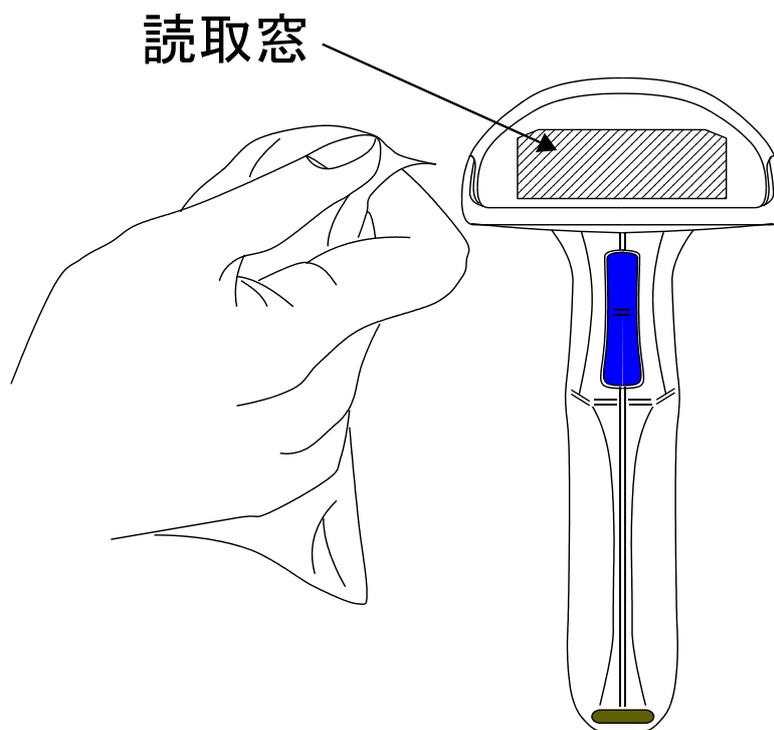
- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となります。
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

PCにデータが入らない

- ✓ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ✓ バーコードリーダの設定は間違っていますか？
本書「3. バーコードリーダの簡単セットアップ」を参考にバーコードリーダの再初期化を行った後、PCの電源を再立ち上げしてください。

その他

- ✓ バーコードリーダの読取窓が汚れていると、バーコードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



※ 症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

補足 E サブバーコード

コード 39



JAN-13



インタープリント 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14

